

坂出市障がい者福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い

日頃より坂出市の障がい福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

坂出市では将来にわたって安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、坂出市障がい者福祉計画の改定、および第8期障がい福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。

このアンケート調査は、18歳以上の市民の皆さまから無作為に選ばせていただき、日ごろ、障がいの状況にある人とどのように関わっているかなど、障がい者福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるため実施させていただくものです。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和8年3月
坂出市長 有福 哲二

<記入要領>

- ・この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- ・宛名のご本人が直接回答いただくことがむずかしい場合には、家族の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- ・質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく確認してお答えください。
- ・記入が終わりましたら、3月31日(火)までに同封の返信用封筒(切手不要)を使ってご返送ください。
- ・このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

坂出市 ふくし課 障がい福祉係		
電	話:0877-44-5007	ファックス:0877-45-7270
株式会社地域科学研究所		
電	話:087-867-0201	ファックス:087-867-2177

回答方法について

1.郵送による回答、2.インターネットによる回答、いずれかの方法でご回答ください。

1. 郵送による回答

調査票に直接○印をご記入いただき、回答期限までに同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手不要)

2. インターネットによる回答

(1)回答用サイトにアクセスする

スマホから

右のQRコードを読み込み、
アクセスしてください。

パソコンから

下記URLをウェブブラウザ上で入力し、アクセスしてください。

<https://>

(2)Web上の表示に従って回答

(3)すべての回答の入力が完了しましたら、「送信」をクリックしてください。以上で回答完了となります。

① あなたご自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を、おうかがいします。(1つに○)

- 1 男性 2 女性 3 その他 4 回答しない

問2 あなたの年齢は3月1日現在、満何歳ですか。数字をご記入ください。

()歳

問3 あなたの身近に、障がいがある人がいますか、または、これまでいたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 自分自身または家族等身近な親族 | 6 隣近所 |
| 2 友人・知人 | 7 趣味等の活動の場 |
| 3 学校 | 8 身近にいたことはない |
| 4 自分の職場 | 9 その他() |
| 5 仕事関係(自分の職場以外) | |

問4 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありますか。

(1つに○)

- 1 ある (⇒問4-1・問4-2へ) 2 ない (⇒問4-3へ)

問4-1・問4-2は、問4で「1 ある」と回答した方におうかがいします。

問4-1 それはどのような気持ちからでしょうか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから
- 2 近所付き合いや親戚付き合いなどで
- 3 困っているときはお互い様という気持ちから
- 4 自分の仕事に関連して
- 5 将来、自分も障がいをもつ可能性があるから
- 6 合理的配慮として
- 7 頼まれたから
- 8 障がい者には優しくすべきという思いから
- 9 何となく
- 10 その他()
- 11 わからない

※合理的配慮とは、障がいのあるかたがたの人権が障がいのないかたがたと同じように保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障がい特性や困りごとに合わせておこなわれる配慮のことです。

問4-2 それはどのような話や手助けでしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 席をゆずった | 7 相談相手、話し相手 |
| 2 横断歩道や階段で手助けをした | 8 手話、点訳、音読など |
| 3 車椅子を押した | 9 寄附等の金銭的な援助 |
| 4 一緒に遊んだ | 10 募金活動 |
| 5 家事や買い物などの手伝い | 11 その他() |
| 6 入浴や着替えなどの手伝い | |

問4-3は、問4で「2 ない」と回答した方におうかがいします。

問4-3 なかったのはどうしてでしょうか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 たまたま機会がなかったから
- 2 自分が何をすればよいかわからなかったから
- 3 どのように接したらよいかわからなかったから
- 4 おせっかいになるような気がしたから
- 5 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから
- 6 自分にとって負担になるような気がしたから
- 7 特に理由はない
- 8 その他()
- 9 わからない

② 障がいがある人の福祉への関心などについておうかがいします。

問5 あなたは、障がいがある人への福祉について関心をお持ちですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1 とても関心がある | 3 どちらともいえない | 5 全く関心はない |
| 2 ある程度関心がある | 4 あまり関心はない | |

問6 問5で「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」と回答した方におうかがいします。

障がいがある人の福祉に対して関心をお持ちなのは、どのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 家族や知人等に障がいがある人がいる(いた)から |
| 2 福祉に関する職業に就いている(いた)から |
| 3 福祉活動やボランティア活動をしている(いた)から |
| 4 テレビや雑誌等での報道を見聞きしている(いた)から |
| 5 市の広報やホームページなどで、障がいがある人に関することを目にするから |
| 6 家族や知人等から福祉に関する話を聞くから |
| 7 その他() |
| 8 特にない |

③ 障がいがある人の雇用についておうかがいします。

問7 あなたは、障がいがある人の職についている状態は十分足りていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

問8 問7で「2 思わない」と回答した方におうかがいします。

あなたは、障がいがある人の就労機会は現状より増えるべきだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえばそう思わない | |

問9 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 通勤手段の確保 | 7 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携 |
| 2 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮 | 8 仕事の内容に合った就労訓練 |
| 3 短時間勤務や勤務日数などの配慮 | 9 仕事についての職場外での相談対応、支援 |
| 4 在宅勤務の拡充 | 10 障がい者法定雇用率の達成企業等の増加 |
| 5 職場の障がい者理解 | 11 その他() |
| 6 職場で介助や援助などが受けられること | |

⑥ まちづくりについておうかがいします。

問16 あなたは、世の中が地域共生社会に向けて前進していると感じますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 とても前進していると感じる | 3 あまり前進していると感じない |
| 2 少しずつ前進していると感じる | 4 全く前進していると感じない |

※地域共生社会とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。

問17 障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。(主なものを5つまで○)

- | |
|--|
| 1 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実 |
| 2 サービス利用の手続きの簡素化 |
| 3 行政からの福祉に関する情報提供の充実 |
| 4 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 5 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実 |
| 6 いろいろなボランティア活動の育成 |
| 7 在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実 |
| 8 リハビリテーションや生活介護・就労継続支援などの通所施設の整備 |
| 9 地域でともに学べる保育・教育内容の充実 |
| 10 就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援の充実や働く場所の確保 |
| 11 障がいの有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実 |
| 12 利用しやすい道路・建物などの整備・改善 |
| 13 障がい者に配慮した公営住宅や、グループホームの整備など、生活の場の確保 |
| 14 災害のときの避難誘導體制(緊急通報システムなど)の整備 |
| 15 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実 |
| 16 本人や家族の積極性 |
| 17 その他() |

